

世界史 大阪大学 文学部 (前期) 1/3

(I)

問 1	黒海北岸に勢力を拡大していたロシアのロマノフ朝は、黒海南岸を支配していたオスマン帝国の保護国であったクリミア・ハン国を、1783年に併合してクリミア半島を領土に加えた。クリミア・ハン国の君主であったシャーヒン・ギライは、非イスラーム国家であったロシアの庇護を受けていたことなどを非難され、オスマン帝国によって処刑された。(158字)

問 2	15世紀にはモスクワ大公国が勢力を拡大し、イヴァン3世はキプチャク・ハン国の支配から自立し、イヴァン4世は東方のカザン・ハン国を滅ぼし、コサックのイエルマークを用いてシベリアに領域を広げた。17世紀になるとロマノフ朝が台頭し、皇帝のピョートル1世は、清の康熙帝とネルチンスク条約を結び、両国の国境画定と通商を約した。(156字)

世界史 大阪大学 文学部 (前期) 2/3

(II)

問1	エ
----	---

問2	明は民間貿易を禁じる海禁政策をとっていたため、当時の東南アジアでは、陶磁器などの中国との貿易が減少していた。(54字)

問3	16世紀末の豊臣秀吉による朝鮮出兵に際し、朝鮮半島から連行された多くの陶工によって九州各地で磁器の国産化が進んだ。ヨーロッパ商人は中国で陶磁器を買い付けていたが、明末清初の混乱や、鄭氏台湾の打倒を図る清が遷界令を発して沿岸部の住民を内陸へ移したことで中国との交易が困難になったため、代替品として日本産の磁器の輸出が増加した。(161字)

問4	ウ
----	---

世界史 大阪大学 文学部 (前期) 3/3

(Ⅲ)

問 1	澶淵の盟
-----	------

問 2	イ
-----	---

問 3	唐が滅亡すると、モンゴル高原東部では契丹が台頭して統一を達成し、五代の後晋の建国を支援した見返りに燕雲十六州を獲得した。その後の五代の諸王朝や北宋は、燕雲十六州の奪回を目指したが実現せず、北宋は澶淵の盟を結んだ。(106字)

問 4	澶淵の盟の結果、北宋と契丹は長期の和平を実現したが、北宋は契丹に贈る銀や絹に加え、官僚の人件費などで財政難に陥り、王安石による富国強兵策の新法が行われた。しかし改革に反対する旧法党との党派争いにより政治的混乱が生じた。(109字)